



「生徒が創る生徒会活動」

地域教育目標 (牧中学校区で育てたい子ども像)
「ふるさと牧を愛し、夢と希望をもち、未来を切り拓くたくましい子ども」



教育目標
「自立 (ひとりで) ・共生 (みんなと) ・挑戦 (さらに)」
～夢と志をもって意欲的に学び、自律と思いやりの心をもつ、たくましい子ども～



「小中合同学校運営協議会による熟議」

心理的安全性と自己有用感
○失敗を恐れない環境づくり
「失敗は学びの最大のチャンス」という共通認識を学校全体で持ち、誰もが安心して挑戦できる「心理的安全性」の高い集団を目指す。
○チーム担任制によるサポート体制
全教職員の多様な視点から生徒の小さな成長やよさを見つけ、認め、褒めることで「自己有用感」を高める。
安全・安心な学校風土

閉校・統合に向けて
＜大切にしてほしい4つの時間＞
① 未来への「夢」や「希望」を語り合う時間
② 人と人との「つながり」を深める時間
③ 何事にも「挑戦」する勇気を持つ時間
④ 支えへの「感謝」の気持ちを持つ時間
閉校記念事業実行委員会



「各教科」「特別活動」「総合的な学習の時間」等で、地域に開かれたカリキュラム

学力向上	社会性育成	健康体力向上
主体的に学び、学んだことを生かし表現できる生徒 ＜目指す姿(評価)＞ ○基礎学力が定着している ○自ら学びをデザインする ○学んだことなどを様々な場面で発信する ＜学校の主な取組＞ ○計画・実行・振り返り(自己評価・自己決定・自己選択)の習慣化(手帳の活用) ○かかわり合ったり発信したりするような授業改善 ○指導に生きる評価の工夫 ○充実した読書時間の確保	主体的に他者と関わり、仲間と共によりよい集団づくりに取り組む生徒 ＜目指す姿(評価)＞ ○自分のよさや仲間のよさを理解している ○よりよい集団を目指し、自ら貢献している ＜学校の主な取組＞ ○仲間とかかわりながら、自己有用感を高める取組の推進 ○互いを尊重し、よりよい人間関係づくりを醸成する取組の推進(全校トーク・全校チャレンジ・SST)	主体的に自分の生活習慣を見つめ、改善策を話し合い、実行する生徒 ＜目指す姿(評価)＞ ○健康的な生活習慣を実践し、PDCAを回す。(自己管理能力・自己調整能力) ＜学校の主な取組＞ ○健康的な運動習慣の定着 全校ウォーキング活動 ○健康的な睡眠習慣と生活リズムの見直し ○メディア利用について、家庭と連携した支援(タイムマネジメント)
○失敗を学びの機会と捉え繰り返しチャレンジする生徒の育成 ～感謝の心でつながり、自信を持って自ら歩む生徒～		

「感謝の心でつながり、自信を持って自ら歩む生徒」
育成のサイクル
④感謝の心(次の誰かのために)
③主体性・自立(自ら挑戦)
②自分への自信(役に立てた)(自己肯定感・自己効力感)
①自己有用感(役割と感謝の言葉)
学校運営協議会

家庭や地域との連携
＜役割とありがとうのお願い＞
○家庭や地域(地域行事・夢まつり・牧っこ秋まつり・職場体験)などで、生徒に小さな役割を与えてください。そして、活動後には「助かったよ」「ありがとう」の声を届けてください。その一言が生徒の「自己有用感(役に立つ実感)」から「自信」へとつながります。
○学校行事やフリー参観にぜひ足を運んでいただき、生徒と一緒に活動し、声をかけてください。地域の方々の温かい眼差しが、失敗を恐れず自ら行動する「自立」の力と、ふるさとへの「感謝の心」を育みます。